

LPG NEWS

えっとぶり

発行 社団法人 徳島県エルピーガス協会

編集 えっとぶり情報委員会

〒771-0134 徳島市川内町平石住吉209-5
徳島健康科学総合センター4階

代表 TEL 088-665-7705

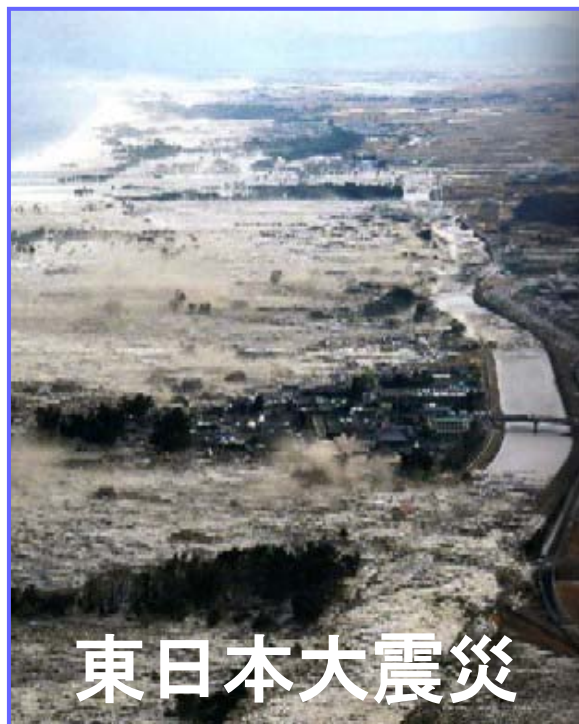
FAX 088-665-6905

URL <http://www.tokushimalpg.or.jp>

この度の震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

さて震災後、県協会では大津波警報が発令された事で沿岸部の各支部に対し、被害報告を求めましたが、幸いにも会員事業所及び設備には被害がなかったことに胸を撫で下ろしました。それからというもの私はテレビ報道に噛り付いていました。それは来るべき南海地震にどのように活かせばよいか目に焼き付けておこうとの思いからです。今回の震災は巨大地震に加え、津波、原発、風評と被災地の方々には三重苦、四重苦の災害ですが、これと同様の事が徳島でも起こり得るし、もはや想定内におおかなければいけないと私は考え始めています。

今回の震災から学ぶべき教訓が数多くあります。徳島県では飯泉知事が定例記者会見で災害に対する考え方の中で「減災」と言う事を言われています。これはあれだけの地震が発生したなら被



東日本大震災

その時、協会のある徳島健康科学総合センター1階会議室では電化対策委員会が始まるようとしていました。建物が少しミシツとしたかと思うと、窓のブラインドがゆっくり揺れ始めました。平成23年3月11日午後2時46分、まさに未曾有の大災害となった東日本大震災の瞬間でした。その後もブラインドがゆっくり揺れ続ける状況に、いつもと違う何かを感じた私は不謹慎にも会議中携帯のワンセグで最大震度7の地震発生を知り、急いでテレビを見るため4階事務所まで上がりました。そこで目の当たりにしたのは、恐らく国内で初めて見るリアルタイムで大津波が押し寄せる光景でした…。

害を被る事を前提に、いかにその被害を少なくするかを考えるということだと思います。「災害に強いLPGガス」を標榜している我が業界もこの「減災」の視点が必要だと思います。

先日、宮城県協会の小笠原会長とお会いする機会があり、「復旧の第一歩は津波で流された容器の回収で始まった」と話されていました。あれだけの津波で家も流されているのだから容器流出もやむを得ないと思われませんが、問題は容器バルブから炎を放ちながら流される映像がテレビで報道されていることです。後日確認したところ残念ながら東北地方のガス放出防止型高圧ホースの普及率は高くなく、もし全ての高圧ホースが放出防止型であったなら、あの映像は流されなかったのかも知れません。事実、下の写真をご覧ください。ガス放出防止型高圧ホースの威力が改めて証明されています。自動切替と高圧ホースで50kg容器を支えているもの、高圧ホースがちぎれているもの、いずれもストップ機能でガスは放



津波で流された容器を回収

威力を発揮する
ガス放出防止型高圧ホースの設置

出されていません。これにより二次災害(火災等)が防げています。

ガス放出防止型高圧ホースは最早災害予防のためのものだけでなく被災後のためにも真剣に設置促進を考えていかなければならないと思います。これこそが我々にできる「減災」という考え方の一つだと思います。

その他にも避難所のガス設備の備蓄等、まだまだ見直さなければいけないことが多くありますが、誌面の都合上割愛するとして、ただ来るべきものは南海地震だけでなく、東海、東南海、南海の連動型地震、M9クラスの地震を想定した災害対策に関する検討を「減災」の視点から県協会として進めていく必要があります。会員の皆さんには今回の東日本大震災を決して対岸の火事と受け止めるのではなく、その痛みを共有していただき共に知恵を出し、災害に備えたいと思います。

(社) 徳島県エルピーガス協会会長 中岸 雅夫

東日本大震災義援金の寄附

「協力ありがとうございました」

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。

当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。

当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。

当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。

当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。

当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。

当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。

当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。

当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。


当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。

当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

三月十一日に東北三陸沖でのマグニチュード9.0の大地震並びに未曾有の大津波により東北地方から関東地方の沿岸部の住民生活、産業活動に甚大な被害が発生したことは、連日のテレビ報道等でご承知のとおりです。

当協会としては、地震発生後、速やかに正副会長会議を開催し、三月十六日付で会員各位に対し、①義援金への募金依頼、並びに、②(社)エルピーガス協会による被災地エルピーガス事業者に対する救援金拠出についてのご理解、ご協力を要請したところでありました。

2011年(平成23年)4月5日 火曜日	東日本大震災 主な義援金 (本社寄託分)
阿南市医師会(100万円)▽阿南医師会中央病院職員一同(69万957円)▽徳島県エルピーガス協会会員および従業員一同(2,066万6762円)▽四国八洲薬品(200万円)▽穴喰婦人会(100万728円)▽中洲八木病院(36万6077円)▽徳島県邦薬協会(25万円) (順不同)	



平成23年度 理事・監事および支部長候補者

理事候補者			支部長予定者		
徳島西	長田 光男	朝日産業	長田 光男	朝日産業	
徳島南	岩野 健司	岩野商店	小川 征二	小川石油	
徳島北	三木 仙一郎	三木商店	里見 徹	里見燃料	
小松島	中川 正道	小松島ガス	倉佐 重	倉佐商店	
勝浦			多田 一寿	多田鉄工所	
川北			炭田 善章	炭田英文商店	
阿南	荒野 富子	津乃峰プロパン	森 勝治	森商店	
丹生谷	藤澤 真棋	藤沢商店	藤澤 真棋	藤沢商店	
海部	多田 政枝	正和	三浦 佳展	カネテ三浦商店	
鳴門	中岸 雅夫	鳴門ガス	綾野 哲也	綾野商店	
下板	酒井 勝	酒井燃料	吉本 豊英	吉本商店	
名東・名西	榎本 光孝	榎本石油	山田 博	山田商店	
神山			佐藤 英雄	佐藤金物店	
上板	近藤 浩二	金丸商店	大和 隆夫	大和商店	
吉野川	岸田 益雄	岸田燃料	新居 周三	新居商店	
阿波			重清 泰弘	重清商店	
美馬	石田 學	徳島液化ガス	小笠 恭晴	美馬農協谷口給油所	
三好	立川 一廣	立川商店	小川 恭史	大黒屋プロパン	
卸売	神原 寛	神原エネルギー産業			
卸売	麻野 恰弘	丸善商事			
卸売	久米 哲生	スタン			
卸売	中岸 敏昭	中岸商店			
卸売	宮崎 一成	宮崎商事			
J A	和西 輝記	ジェイ/徳島燃料サービス			
J A	阿部 美範	麻植郡農協			
J A	島山 繁輝	阿南農協			
J A	岡田 積	徳島市農協ガス			
青年部会	石川 雅史	石川石油ガス			
会員外	寒川 洋甫	徳島県エルピーガス協会			
監事候補者			平成23年度から24年度の理事・監事・支部長候補者が推薦されています。 ■支部(理事14名、監事1名) ■J A(理事4名、監事1名) ■製造事業者(理事5名、監事1名) ■青年部会(理事1名) ■協会専務(理事1名) ★理事予定者数 25名 ★監事予定者数 3名		
徳島南	小川 征二	小川石油			
卸売	加藤 真一郎	高山産業			
J A	松内 孝史	徳島北農協			

(平成23年4月13日現在)

役員改選候補者

総務部会より

平成二十二年度は、各国の通貨安競争から始まり輸出産業を中心とする日本にとっては厳しい心となりまし。輸入製品に頼るLPガス業界にとっては追い風と思われがちでしたが、決して潤わされたわけでもなく、暑く長い記録的な夏日が続く、消費の低迷で販売量は低下となった。

値での乱高下が続く中、小売価格の硬直化と原料調整制度が叫ばれ、また東日本大震災の発生とLPガス業界にとっても苦難の1年であったと思われ。またエネルギーギ一問題、温暖化問題、電化対策、都市ガス対策と、問題は山積みです。総務部会としても、新年度には一般社団法人への移行、支部再編等、解決しなければならぬ宿題があります。

平成二十三年度は、協会理事・監事・支部長の改選の時期となっております。次期協会の役員候補の推薦をお願いしたところ、三月より協議が行われ、推薦母体である各支部・卸部会・J A徳島からの候補者(別表記載)各位が推薦されたのでお知らせします。

三木 仙一郎(総務部会長)

うです。支部再編等、解決しなければならぬ宿題があります。

平成二十三年度は、協会理事・監事・支部長の改選の時期となっております。次期協会の役員候補の推薦をお願いしたところ、三月より協議が行われ、推薦母体である各支部・卸部会・J A徳島からの候補者(別表記載)各位が推薦されたのでお知らせします。

三木 仙一郎(総務部会長)

High Risk High Return



経済部会

三月十一日の東日本大震災によって被災された方々にお見舞い申し上げます。

報道を見るにつけ胸が痛む日々が続いています。悲しい出来事ではありますが、その中で被災された人々が助け合い支えあつてつながらる姿には心が深く動かされています。地域の一日でも早い復興と、人々が少しでも元氣を取り戻され平穏な日常生活が営まれるように願っています。

今回、天変地異にはあまりにも無力であり、人の世は「無常」だと痛感しましたが、憂慮されているのは未だ収束されない「人災」とも言われている福島原発事故です。

電気は、わが国のエネルギーとして欠かせないものです。しかしながら原発事故は、今まで「クリーンで安全」なはずの原発による発電を国策によって「最善」であると信じさせられてきた「神話」を崩壊し、地域の住民のみならず日本国民の日常生活を破綻

し経済を疲弊させ、そして環境を汚染するという最悪のシナリオで不安と恐怖に直面させています。

これまで私たち国民は、その利便性に甘えて「ハイリターン」には「ハイリスク」がつきものであることを忘れていたのかも知れません。「国民の財産と安全」が守れない危機に貶めているこの「ハイリスク」をいつまで背負い続けていくのでしょうか？

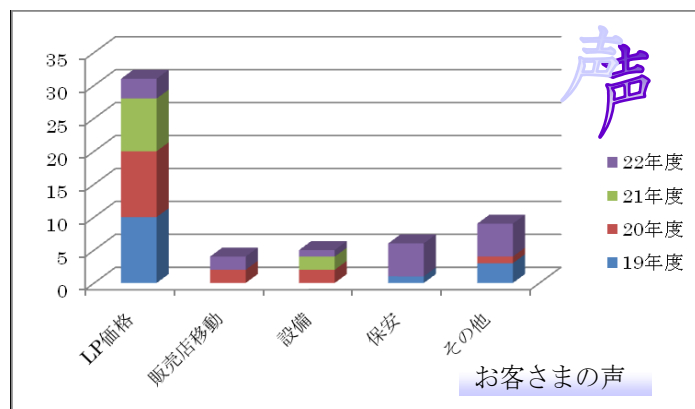
今後、限られるであろう電気供給量を考えますと、オール電化という不見識で愚かな選択をする国民は少なくなるだろうと信じていますが、今、私たちLPガス業界のひとり一人ができること、その一つとして、これまで以上に丁寧に、お客様にベストなエネルギーの選択のあり方について提案していくことも知れません。

現在、最終号として「お客様の声」を集めた第4弾の電化対策パンフレットを準備作成中です。六月には会員の皆さんにご案内いたしますので、お

お客様に「ガスの良さ」を伝えるツールとしてご利用していただければ幸いです。

泉 雅之(経済部会長)

平成22年度 お客様相談所



お客様相談件数は全部で16件、前年度よりも6件多くなりました。内容については保安・その他の件数が多くなっています。■LPガスの価格について 3件、■販売店の移動について 2件、■設備関係について 1件、■保安について 5件、■その他 5件

この4年間については、依然LP価格問題が多く寄せられております。

今年度は、LPガス価格にもっとも大きい影響のあるCP価格(サウジアラムコからの輸入契約価格)が異常に乱高下しながらも高止まり

行事予定

月	日	内容	会場	時間
4月	27日	監査	協会	10:30~
		理事会	グランヴィリオホテル	13:30~
		理事予定者会議	グランヴィリオホテル	15:30~
5月	13日	調査員講習・検定	徳島県教育会館	9:00~
	19日	業務主任者講習	徳島県教育会館	9:00~
	26日	経営講習会(エネファーム)	ホテルクレメント徳島	13:30~
		第45回通常総会		14:30~
		新任理事会		16:00~
6月	9日	設備士再講習	J A 会館	9:00~
	15日~17日	丙種化学液石講習	健康科学総合センター	9:00~
	22日~24日	第二種販売講習	J A 会館	9:00~

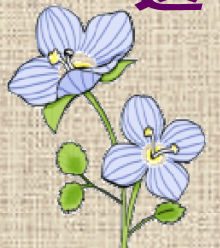
となり、ガソリン・LNG・LPGの輸入価格が大幅に値上がりするなど消費者価格にも大きく影響されています。これにより、消費世帯に占める光熱費の負担は増加していると思われ、状況に把握がされているせいか、LPガス料金に関する相談は二十二年度には減少しました。一方、保安、容器の処分、取り扱い等、地震災害時の対応など、第4四半期に相談案件が増加しています。

災害を想定した応急生活物資輸送

訓練実施

三月四日／七日

(2日間)



製造部会及び協定事業者の25事業者は、災害時における応急生活物資の支援体制を確立するため三月四日及び七日の2日間、備蓄状況確認と緊急輸送訓練を実施しました。

徳島県と徳島県エルピーガス協会は、緊急災害時の避難所、仮設住宅等へのLPGガスの供給を確保するため、災害時応急生活物資の支援協定を平成十八年に締結しており、この流れを点検し、より確実なものにするための位置づけとして、訓練を実施し検証しました。

徳島県からの応急生活物資供給協力要請を受け訓練を開始し、災害対策本部で輸送計画を検討しました。これを受け緊急物資輸送班長は、応急生活物資備蓄事業者に対して緊急要請しました。県内の5地区に指定された避難所に物資は搬送され、現場責任者のチェックを受け、その結果を災害対策本部に連絡し輸送訓練は終了しました。

訓練は遅滞なく進行し、円滑に実行することが確認されました。今回の訓練は、災害時におけるべき行動のごく一部にしか過ぎず、相前後して発生した「東日本大震災」の状況を踏まえると、想像を絶するような惨事には到底、我々の力ではとても及ばないものと思われれます。しかし、エネルギーの生活線を支える事業者として、今後ともより強く頑張っていく所存です。

また、今回2回に亘る訓練に協定全事業者が参加いただきましたことに厚くお礼申し上げます。今後も更なる訓練等を計画実行し、非常時には迅速な対応が取れるよう見直して行きたいと考えております。

麻野 恰弘(製造部会長)

『応急生活物資輸送』 訓練報告

実施日 平成二十三年三月九日
(午前九時～十一時)

徳島県と徳島県エルピーガス協会との災害時における協定による応急生活物資支援体制の確立と、円滑な輸送連絡体制の確立をし、関係者相互間の災害意識の向上を目指します。

■ 対象者

徳島県と徳島県エルピーガス協会との



災害時応急生活物資支援協定による応急生活物資備蓄事業者(平成二十三年三月現在 25事業所)

■ 訓練実施状況

【8:30 a m】▽災害対策本部設置

【9:00 a m】▽徳島県災害対策本部より応急生活物資供給協力要請▽電話とFAXによる要請を受ける▽災害対策部長は総務班長、緊急物資輸送班長に輸送検討の指示▽総務班は応急生活物資輸送配分案の作成▽これを受け総務班長と緊急物資班長の協議

【9:05 a m】▽緊急物資輸送班長は備蓄事業者に対して応急生活物資輸送依頼の連絡を指示(事務局↓備蓄状況確認者↓備蓄事業者)

【9:06 a m】▽事務局に対して備蓄事業者にFAX送信の指示、事務局は応急生活物資輸送依頼書をFAX送信(事務局↓備蓄事業者)▽現地担当者(5地区)より応急生活物資輸送状況の報告(FAX)受信待機

【10:08 a m】▽5地区の現地担当者より報告の受信終了

【10:10 a m】▽事務局結果集計

【10:12 a m】▽対策本部長、総務班長、緊急物資輸送班長に結果報告

【10:17 a m】▽徳島県災害対策本部に訓練終了報告



【10:20 a m】▽訓練終了

■ 問題点

連絡、輸送に関して問題となるトラブルの発生はなかった。事務所、事業所の時計及び機器類の時刻合わせを定期的に実施する。

■ 結果報告



今回の訓練は、協定25事業所のすべての事業者参加による訓練で予定計画どおりに実施されました。2時間以内での連絡と応急生活物資を指定された場所に輸送する訓練ではありましたが、混乱もなく円滑に実行することができました。今回、輸送指定した応急生活物資も指定どおり現場で確認し報告されました。担当者レベルでの聞き違い、または勘違いにより報告が多少遅れる等はありませんでしたが、確認者よりの指示でカバーされ、その場で修正が行われスムーズに解決されております。

今回の訓練内容は災害発生時に取らなければならない行動の一部に過ぎませんが、まだまだ予測を上回る事態が発生する可能性は大きいと思われれます。今後も定期的に訓練を実施し参加関係者のスキルアップを図りたいと考えております。各事業所内での災害対策訓練においても、定期的勉強会や説明会また対応訓練を実施していただき、全員の円滑な行動が実施できるようお願いいたします。